

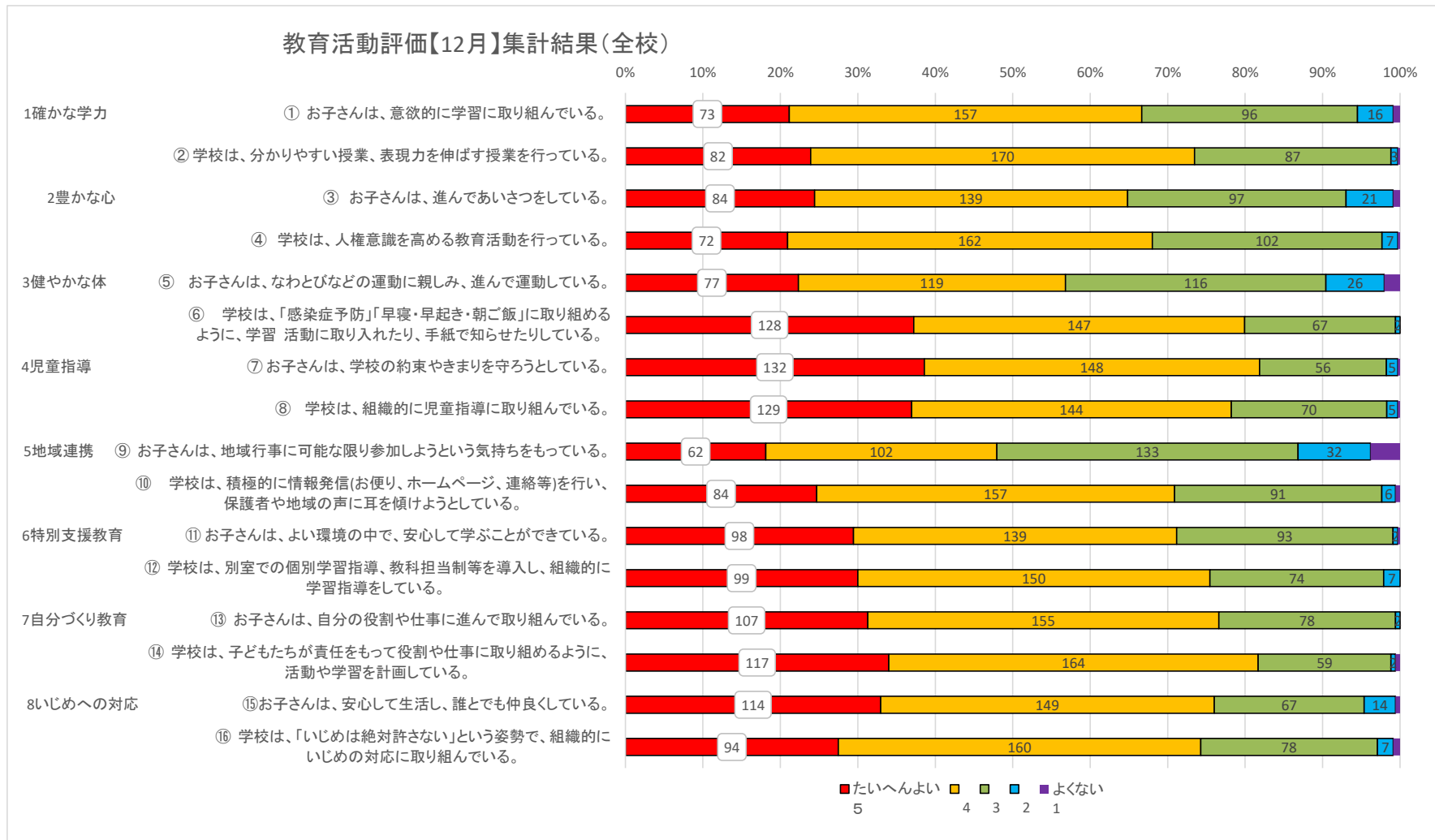
保護者様

横浜市立都田小学校
校長 今村 行道

教育活動評価（12月） 集計結果報告について

学校の梅の花が咲き、春の兆しを感じる頃となりました。保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のことと存じます。日頃より、本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、12月にご協力いただきました「教育活動評価」の集計結果がまとまりましたのでご報告いたします。本校はPDCAサイクルで教育活動を展開し、責任ある評価、責任ある実行を柱としております。このたびの教育活動評価につきましても、私たち教職員による自己評価、子どもたちからの評価と併せて分析し、いただいたご意見を成果及び課題としてまとめました。今回の結果と皆様からいただいたご意見は、来年度の中期学校経営方針に生かしていきます。今後とも、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



<成果>

- 自分で考えて取り組んでいると思う。
- 学校でよく子どもたちに挨拶してもらえる。
- 男女分け隔てなく仲良くしている話を子どもから聞いている。友達との関係が楽しいのだと感じる。
- ルールを守るという基本的なことの大切さをしっかり学んでいると感じる。
- 宿泊体験学習のとき、先生から「相手の身体の話は絶対に口にはしてはいけない。」と強く言われたと子どもに聞いた。先生方が、全力で子どもたちを守ってくださっていると感じた。
- 学校ホームページ、配付文書、メール配信での連絡など、充実していると思う。
- 教科担当制は、子どもが「それぞれの先生の考え方に触れることができ面白い。」と話していた。授業をいろいろな角度から楽しんで学ぶことができると感じた。
- 運動会の団体演技がきっかけになり、やる気をもって取り組む姿が見られた。
- 子どもが不安に感じていることへの対応や保護者の気持ちを思った対応が丁寧だと感じた。
- コロナ禍で学校に行く機会が少なくなっていたが、授業参観ができてよかった。参観日時を分け、人数制限をして行われた授業参観で、しっかりと感染症対策がされていた。
- 子どもたちが落ち着いて、意欲的に学習に取り組んでいる姿を観ることができてよかった。よく集中して授業を聞いていた。積極的に発言して参加する姿も観ることができた。
- 授業がわかりやすくなるように工夫(タブレットの活用・グループワーク・ノートに書く活動など)されていると感じた。課題の設定や提示の仕方を子どもたちが興味をもてるように工夫されていたり、子どもたちが自分の言葉で自分の考えを伝える形をとっていたりしているところもよかった。
- タブレット端末の便利さと今後の学習活動の広がり(オンライン授業など)を感じた。
- 体育の授業では、教師が丁寧に指導している姿が印象的でした。子どもたちも教師の話をよく聞いて意欲的に授業に参加していた。

<課題>

- ▲宿題で「分からない」と言ってやる気を失うことが増えた。
- ▲ルールで抑制し、ブロックをかけ過ぎてしまうこととは、中学生、大人へと成長していくことを考えると心配。スタンダードの見直しがあってもよいと思う。
- ▲先生からの連絡と子どもから聞いたの話が内容が違っていた。ヒアリングが足りていないのでは？と感じた。
- ▲子どもの落ち着きや集中など、気になるところもあったので、家庭でも声をかけていきたい。
- ▲タブレット端末の活用は、便利だが、一方で、タブレット端末ばかりに気を取られていたり目を近づけ過ぎていたりなど弊害になってしまう部分もあると感じた。
- ▲クラスの児童数が多い学年は、教師一人では大変そうだなと感じた。どうしても密になってしまうと感じた。
- ▲児童数の多い学級は、教師が一人で体育の授業を行うのは大変だと感じた。